

市議会議員  
かけのまち子  
電話/Fax 53-7727  
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員  
みわ 陽子  
電話/Fax 54-6712  
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO443 2019.11.14  
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753  
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

日本共産党江南市議員団 HP

\* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

# 下水道整備は大幅縮小へ。原則、市街化区域のみに

江南市の公共下水道の整備に関する方針(案)が議会に示されました。「今後の整備区域は、市街化区域を原則とする」との思い切った縮小方針。調整区域の汚水処理は下水道を止め、合併浄化槽で行うとの大転換です。



度末で38.5%と、全国的にも低い江南市にとって、調整区域をすべて整備した場合、投資額が多額となり一般会計からの繰り入れが増大し財政負担が重くなること。国の求める2025年度までの汚水処理10年概成の達成が困難であること。すでに合併浄化槽の普及が約60%となり、下水道を整備しても特に高齢者世帯などで接続して貰えない恐れがあるなど、投資効率が低くなるためです。

## 既事業認可の調整区域も取り消し

この整備方針の転換に伴い、すでに事業認可区域となっていた市街化調整区域の高屋町・宮後町・勝佐町・今市場町・力長町の一部の事業認可を取り消し、現在の基本計画の整備面積1690haに含まれる調整区域約956haのほとんどを除外する下水道基本計画の見直し等が必要となります。

このような縮小案に至った理由は、下水道普及率が2018年

## 調整区域の汚水処理は合併浄化槽で

日本共産党議員団はこれまで、市街化調整区域における下水道整備の見直し縮小、合併浄化槽による整備を求めてきましたが、ついに方針転換です。今後は、調整区域において、単独処理浄化槽から合併浄化槽への転換を促すために補助制度を拡大するなど、効果的な推進体制が必要です。

# 布袋駅東の複合公共施設、市負担上限額66億円余 分棟方式の可能性高まる、12月議会に補正予算

布袋駅東複合公共施設の事業者募集要項の全体像がようやく見えてきました。

一部の地権者同意がとれず、虫くい状態のまま事業用地が確定した(右図傍点部分が取得できず除く)のをはじめ、当初、市が想定した公共施設と民間施設の合築方式ではな



く、参入意欲を示す民間事業者の意向で、分棟方式となる可能性が高いことが当局の説明でわかりました。(右図は分棟方式のイメージ図。最終的には事業者の提案次第で決まります)

図書館、交流スペース、保健センター、子育て支援センターなど公共施設の概算事業費は、膨らんで43億7800万円に。

他に、公共施設の維持管理を委託する費用約21億円(30年分)。民間事業者が整備する駐車場のうち、公共施設分100台の賃借料2億5662万円(30年分)。(物価変動額を除く)

これら総額66億円余を、市負担上限額として定める債務負担行為の補正予算が12月議会に提案されます。

## 設計・建設期間中の地代取らず、業者に無償提供

事業用地はすべて市が買収したものです。民間施設と駐車場の用地を民間事業者に貸し付ける契約(30年の事業用定期借地権設定)の予定ですが、2年間の設計・建設期間中は、事業者の利益

確保に配慮し無償で提供しようとしています。

また市有地の上に、市のお金で図書館など公共施設を、市が設計・建設業者と請負契約を結び建設するにもかかわらず、PFIに準じた性能発注、設計施工一括発注方式とする事業者任せの方針です。これでは設計段階に市民の意見をきめ細かく反映する機会がありません。



## 給食の安全・安心は大丈夫か?

### 退職しても新規採用せず、正職不足に。給食センターの調理員を派遣で補う



12月議会の補正予算に、給食センターに派遣調理員(南・北両センターに3人ずつ)を入れて、正職員不足を補う予算が提案されます。来年度から1年間の予定。再来年度以降については、調理業務の民間委託を検討するとしています。